

基本理念	基本目標	分野	福祉課題	福祉課題の実情	具体的な取り組み（条件づくり）	校区社協としての取組
みんなでつくる安心で活気あふれる大江校区	生きがいを感じ元気で安心して暮らせるまちづくり	高齢者	高齢者の孤立防止と社会参加	<ul style="list-style-type: none"> 特に公営住宅においては、高齢化率が高く、独居高齢者が多い 高齢者を支援する近所の人達が高齢に近い コロナ禍の影響で外出を控える高齢者が増えており、会話も減っている 町内によっては、近所で集える場所がない 	<ul style="list-style-type: none"> 日頃からの声かけや見守り 日頃からの近所づきあいを大切にしてください 気軽に集える場所づくり 万々に備えた取組みの拡充 日常生活を支援する取組みの拡充 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども会のラジオ体操に高齢者も参加できるようにするなど、ふれあつ機会を拡充する ふれあいサロン等において、地域の医療機関等の方々から健康に関する情報を継続して提供していただく 校区公民館や新コミュニティセンターなどを活用し、気軽に集える場所づくりに向けて、市や関係機関との連携を図る 命のバトン事業を継続して実施 身寄りのない高齢者を対象に、万々に備えた新たな取組みを検討する ちょっとボランティア事業を継続して実施し、日常生活を支援する新たな取組みを検討する
			高齢者の体力維持と健康問題	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の影響で外出を控える高齢者が増えており、体力や認知機能の低下も懸念される 町内によっては、近所で集える場所がない 	<ul style="list-style-type: none"> 気軽に集える場所づくり 医療機関等との連携 地域行事への参加呼びかけ 健康に関する情報の提供 	
		障がい児・者に対する理解	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者の方とどう接していいかわからない 	<ul style="list-style-type: none"> 障がいへの正しい理解 障がい児・者への対応方法 	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者団体との連携及び障がい者の方々との交流を継続して行う 	
		障がい児・者の孤立防止と社会参加	<ul style="list-style-type: none"> 障がい児・者の方々は、支援を必要としている人、そっとしておいてほしい人、様々である 	<ul style="list-style-type: none"> 日頃からの声かけや見守り 日頃からの近所づきあい 	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者サポーター出前講座の開催を検討する 障がいのある方に校区社協役員に就任していただくことを検討する 	
	のびのび育つ大江の宝	子ども・子育て	子どもの人権（いじめ、不登校など）	<ul style="list-style-type: none"> 早期発見と早期対応の課題 学校との情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> 学習支援センターの利用促進 子どもの視点・立場で判断できる支援者の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 不登校児童・生徒については、熊本学習支援センターとの連携を図る 学校の登下校時において見守り活動を継続する 放課後の子どもの居場所づくりを検討する 乳児から就学前の子どもと保護者の交流する機会をつくる 世代間交流事業など一緒に取り組める事業を検討する
			子ども、子育て家庭の見守り	<ul style="list-style-type: none"> ひとり親家庭の実態把握 放課後の居場所づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 日頃の近所づきあい 中学卒業後の支援やサポート 親子が安心できる居場所づくり 	
	災害に備え、助け合うまちづくり	災害・防災	平常時における災害の備えと避難支援体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> 避難場所や避難経路を確認できていない 	<ul style="list-style-type: none"> 避難先（避難所）の周知と避難経路の確認 要援護者の実態把握と支援体制の確認 	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練への参加者増員を図るため、広報を拡充する 町内ごとのハザードマップ作成への協力
			防災に対する地域住民の意識づけ	<ul style="list-style-type: none"> 若い世代だけではなく全世代への防災意識の向上を図ることが必要 	<ul style="list-style-type: none"> 日頃からの近所づきあい 各家庭における備蓄食糧等の確認 全世代で防災意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 災害時要援護者避難支援名簿を実際の災害のときに活用できるよう支援内容の再確認を促す
	「近所づきあいから始める人の和・輪」	その他	住民同士の交流	<ul style="list-style-type: none"> 近所の間関係の希薄化 マンションが増え、住民の孤立化や交流の難しさがある 	<ul style="list-style-type: none"> マンション住民との交流を図る。 学校と連携を図り、学生と地域住民との交流の機会をつくる。（ここでは、小学生、中学生、高校生、大学生を総称して「学生」としています） 	<ul style="list-style-type: none"> マンションの集会所やエントランスロビーでの交流事業を検討する 校区内（隣接含む）の学校と連携し、学生と地域住民との交流事業を検討する 大江校区ポータルサイトを活用し、住民に地域の情報を発信する
			地域役員の担い手不足	<ul style="list-style-type: none"> 役員の高齢化率が高く、次の担い手が見つかりにくい 民生委員・児童委員のなり手不足 	<ul style="list-style-type: none"> 若い世代との交流を拡充する。 	<ul style="list-style-type: none"> P T Aと校区社協、自治協との交流の場を設ける（共同で行事を開催するなど）